



**2018年度
決算説明会資料
2019年5月14日**

株式会社UACJ

1. 2018年度通期業績

2. 2019年度通期業績見通し

3. FY2019～FY2020の中期経営計画

4. 財務状況、株主還元

1. 2018年度通期業績

経常利益 62億円（前年度比 132億円減）

■ 数量：前年比増

- ・UATH^{*1}（タイ）、TAA^{*2}（米国）の缶材が増加
- ・自動車向けが増加

■ 経常利益：前年度比 132億円（68.0%）減

◎ 増益要因

- ・Logan^{*3}持分法損益改善
- ・一過性の人件費支払の解消
- ・CUA^{*4}合弁解消による持分法損益の改善
- ・UATH業績改善

△ 減益要因

- ・棚卸評価関係
- ・経営環境の急変による販売減（中国経済の減速/米中貿易摩擦等）
- ・エネルギーコストの増加
- ・TAAの戦略投資による償却費の一時的な増加

配当 年間 60円/株を予定

■ 年間配当 60円/株を予定（期末一括配当）

*1: UACJ (Thailand) Co., Ltd. *2: Tri-Arrows Aluminum Inc. *3: Logan Aluminum Inc *4: Constellium-UACJ ABS LLC

2018年度 通期業績



(単位：億円)

	2017年度 (A)	2018年度 (B)	増減 (B) - (A)
連結売上高	6,243	6,613	371
連結営業利益	292	149	△143
棚卸影響前 連結経常利益	113	30	△83
連結経常利益	194	62	△132
連結当期純利益	123	11	△111
Adjusted EBITDA	507	426	△81

※ 連結当期純利益：親会社株主に帰属する四半期純利益
 ※ Adjusted EBITDA：EBITDA - 棚卸評価関係

セグメント別売上高・営業利益

(単位：億円)

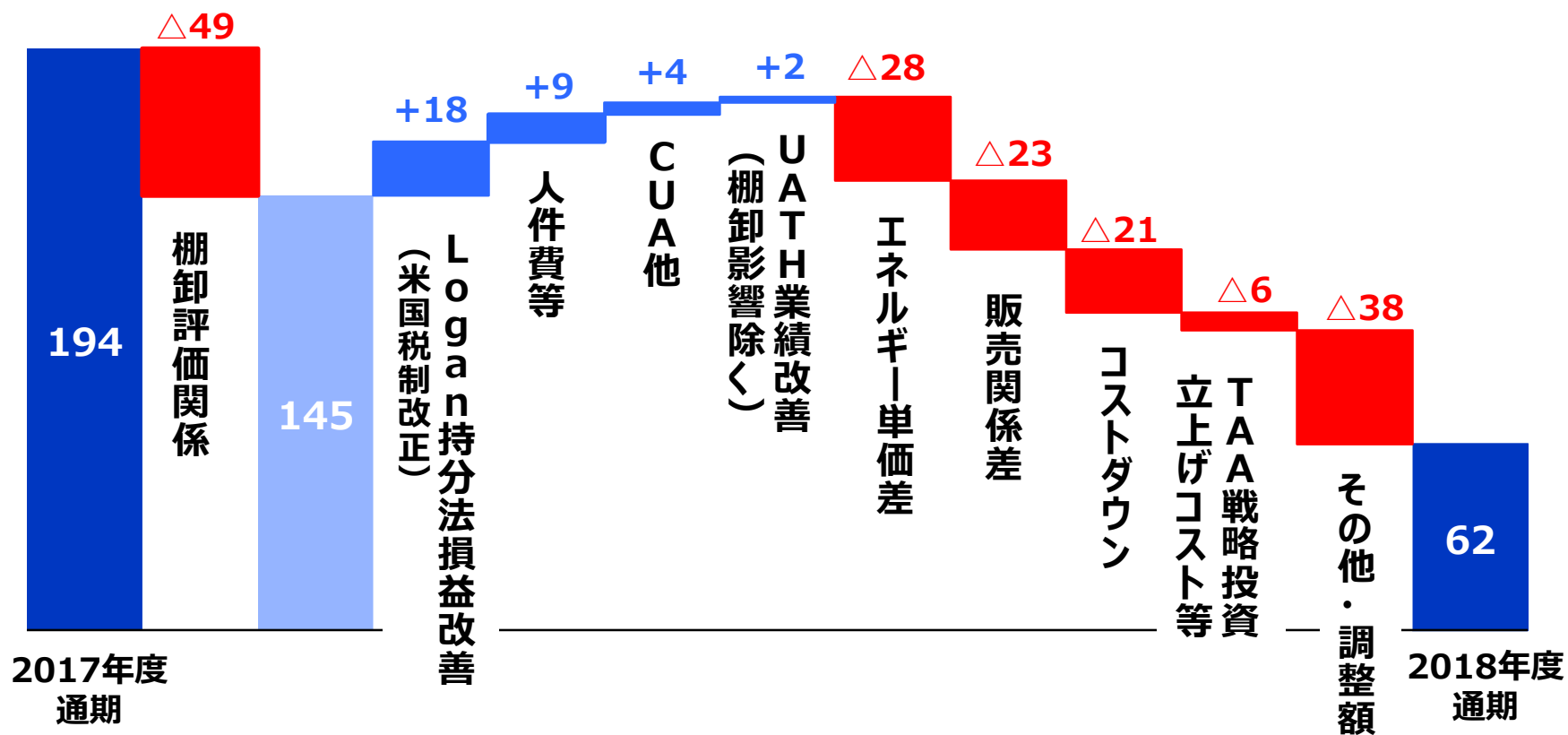
	2017年度 (A)		2018年度 (B)		増減 (B) - (A)	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
アルミ圧延品	4,979	297	5,307	170	328	△126
伸銅品	456	21	475	17	19	△3
加工品・関連事業	1,846	43	1,971	31	125	△12
(調整額)	△1,039	△68	△1,140	△70	△101	△2
合計	6,243	292	6,613	149	371	△143

連結経常損益分析

(2017年度→2018年度)

194億円 (2017年度) → 62億円 (2018年度)

(単位：億円)



アルミ板 品種別売上数量

(単位:千トン)

品 種	2017年度 (A)	2018年度 (B)	増 減 (B) - (A)
缶 材	602	666	64
箔 地	49	50	0
I T	21	15	△5
自 動 車	135	147	13
厚 板	69	40	△29
その他一般材	174	177	3
合 計	1,049	1,094	45
	〔 国内市場向け 529 海外市場向け 520 〕	〔 国内市場向け 504 海外市場向け 590 〕	〔 △25 70 〕

2. 2019年度通期業績見通し

経常利益 110億円（前年比48億円増）

■ 数量：前年比増

- ・UATH(タイ)、TAA缶材が大幅に増加
- ・自動車向けも引き続き好調

■ 経常利益：110億円 前年比 48億円（77.4%）増

◎ 増益要因

- ・UATH業績改善
- ・販売関係の好転
- ・コストダウン
- ・CUA合併解消による持分法損益の改善

△ 減益要因

- ・棚卸評価関係
- ・エネルギーコスト上昇

配当 年間 60円/株を予定

■ 利益向上を重視、業績連動・期末一括による配当方針を継続

2019年度 通期業績見通し



(単位：億円)

	2018年度 (A)	2019年度見通し (B)	増減 (B) - (A)
連結売上高	6,613	7,100	487
連結営業利益	149	175	26
棚卸影響前 連結経常利益	30	115	85
連結経常利益	62	110	48
連結当期純利益	11	35	24
Adjusted EBITDA	426	520	94

諸元（2019年度）：アルミ地金日経平均 269円/kg，為替 111円/US\$，原油（ドバイ）68US\$/B

※ 今年度より年次での業績管理を行っておりますので、第2四半期（累計）の連結業績予想の記載を省略しております。

※ 連結当期純利益：親会社株主に帰属する四半期純利益

※ Adjusted EBITDA：EBITDA - 棚卸評価関係

セグメント別 売上高・営業利益

(単位：億円)

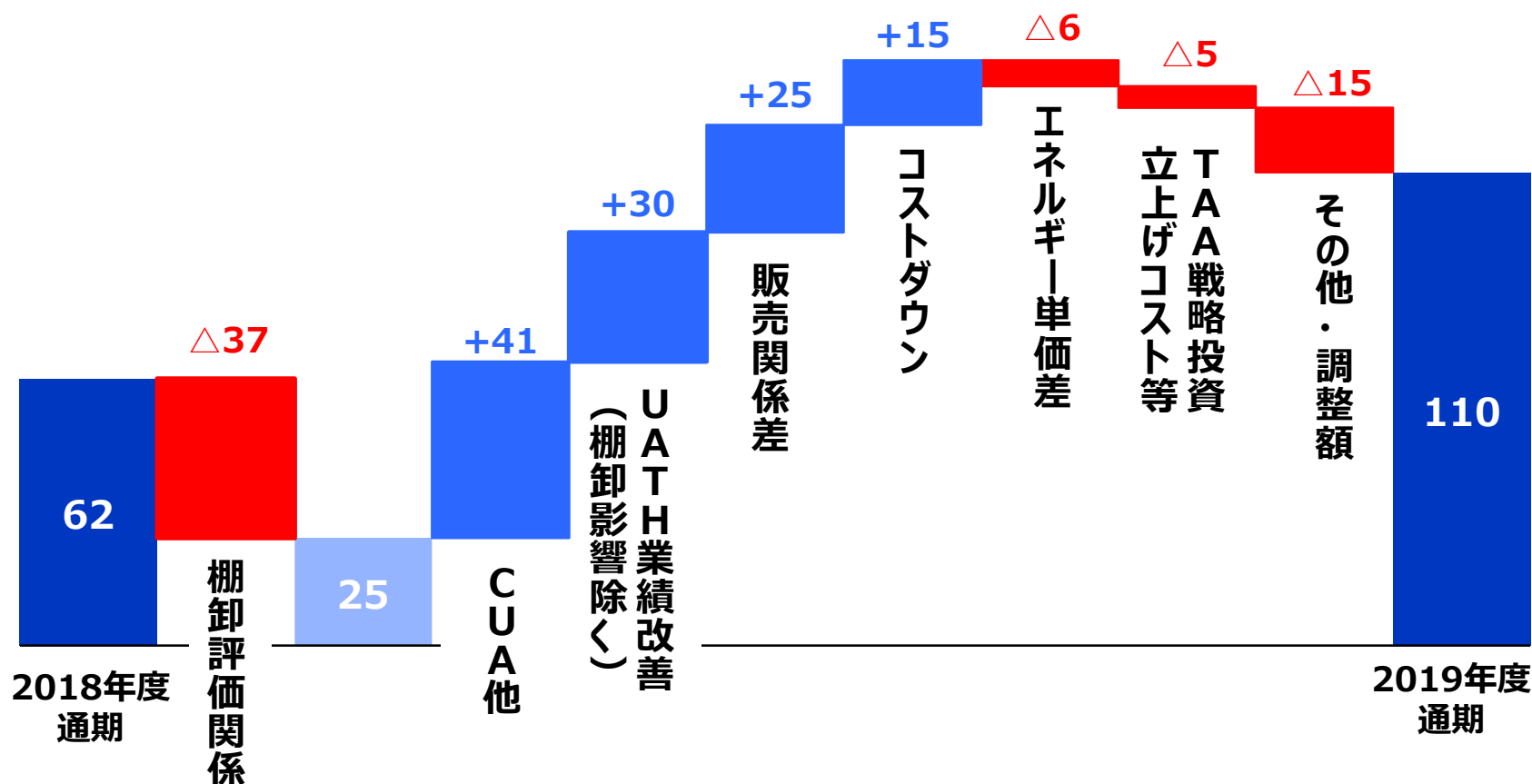
	2018年度 (A)		2019年度 見通し (B)		増 減 (B) - (A)	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
アルミ圧延品	5,307	170	5,670	201	363	31
伸銅品	475	17	501	22	26	5
加工品・関連事業	1,971	31	2,082	36	111	5
(調整額)	△1,140	△70	△1,153	△85	△13	△15
合 計	6,613	149	7,100	175	487	26

連結経常損益分析

(2018年度 → 2019年度 見通し)

62億円 (2018年度) → 110億円 (2019年度)

(単位：億円)



アルミ板 品種別売上数量



(単位:千t)

品 種	2018年度 (A)	2019年度 (B)	増 減 (B) - (A)
缶 材	666	722	56
箔 地	50	52	3
I T 材	15	15	0
自 動 車 材	147	164	16
厚 板	40	42	2
その他一般材	177	194	18
合 計	1,094	1,190	95
	〔 国内市場向け 504 海外市場向け 590 〕	〔 国内市場向け 523 海外市場向け 667 〕	〔 19 77 〕

3. FY2019～FY2020の中期経営計画

将来ビジョン UACJのありたい姿

アルミニウムの可能性を最大限に発揮し、
社会と環境に貢献する

中計 2018～2020年度 重点方針

1. 成長市場（アジア・北米）、成長分野（自動車）に注力継続
2. 先行投資の着実な回収
3. 資本効率の向上（ROIC重視）
4. 行動理念の共有と浸透 “UACJウェイ”

前・中計 2015～2017年度 重点実行項目

- 海外展開の加速 – 成長市場、成長分野への積極投資、グローバル供給体制構築
- 国内最適生産体制の構築

事業環境認識と取るべきアクション

(単位：億円)



経営環境の急激な悪化

- 米中貿易摩擦、中国経済減速影響により販売が減少
- アルミ地金価格、エネルギーコスト、為替レート等の変動

事業計画の大幅未達

- 販売数量の減少・品種構成の悪化、エネルギーコストの大幅アップ

財務の悪化

- 収益の悪化により有利子負債が増加

事業戦略の再検討

資本効率改善に向けて事業の「選択と集中」を加速

2018年

2019年

8月

韓国・CHOIL社
との業務提携解消

住軽日軽エンジニアリング
の株式譲渡

9月

乳源東陽光優艾希杰
精箔有限公司のコンデンサ箔
及び、自動車向け熱交換器材の
増産に向けた追加設備投資
+ 電池箔生産設備を新設

12月

CUA合併事業
の解消

2月

自動車部品
事業本部新設

3月

中国CITICグループ
の関連子会社との
事業提携

※ プレスリリース発行月を記載

2019年度営業利益黒字（体質）確立する

2018年度総括

- ・東南アジアを中心に缶材の需要は堅調
- ・一過性の設備故障発生も、生産・販売共に概ねインライン（販売数量：15万t）
- ・第3期工事も順調に進捗

今後の見通し

- ・2019年度は年間20万tの販売を目指す

缶材

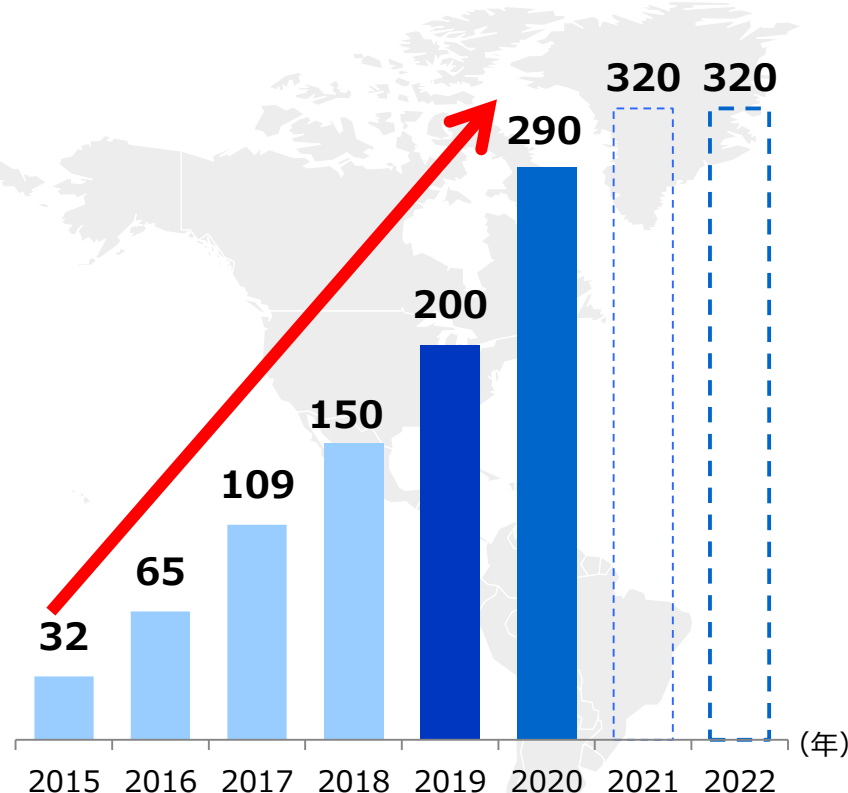
- ・需給タイトで単価UP
- ・品種/顧客構成改善→直販強化

エアコンフィン

- ・高採算品の集中販売による収益アップ°

- ・2020年度には 経常損益での黒字化を目指す

UATH 年間販売量（千t）



缶材需要を積極的に取り込み、生産効率を更にレベルアップ

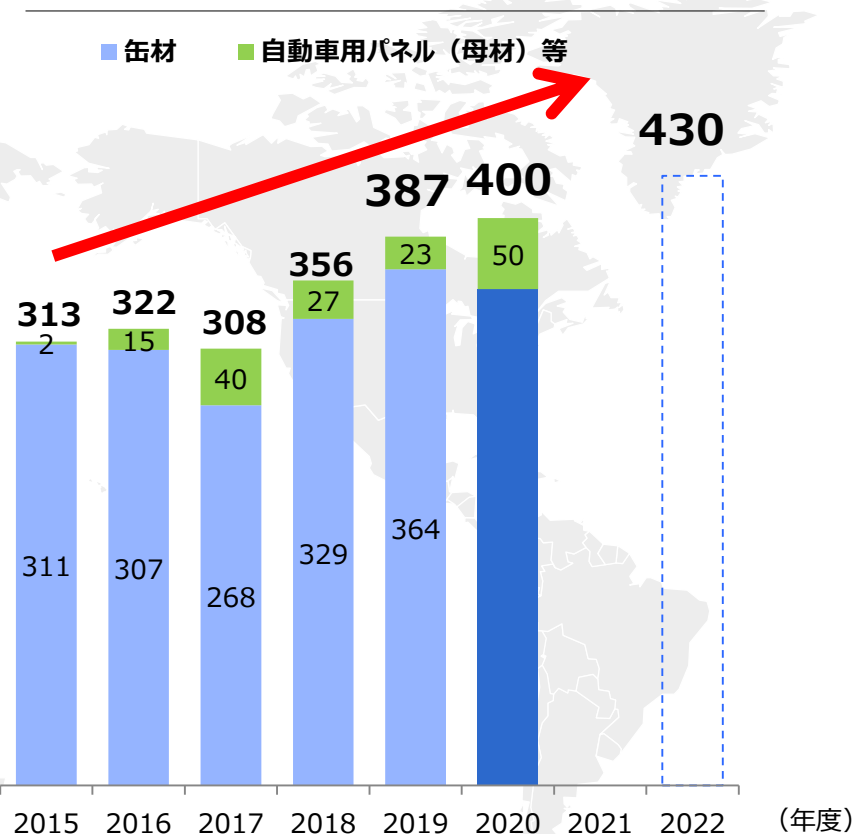
2018年度総括

- ・北米缶材需給はタイトな状況
- ・中国材輸入減により、缶材のフル生産が継続
- ・期初計画を売上・利益共に超過達成

今後の見通し

- ・缶材需給はタイトな状況が継続
- ・2015年から実施しているコストダウン投資は回収フェーズへ
- ・販売数量：2020年度 40万t体制へ

TAA 年間販売量 (千t)



グローバルでお客様の軽量化ニーズに最良なソリューション提案ができる体制を構築



日本

- 自動車部品事業本部を新設し、グローバル事業展開体制の強化

北米

- UWH* 既存顧客の深掘りと攻めの営業加速

中国

- 中国CITICグループの関連子会社と事業提携

*UWH: UACJ Automotive Whitehall Industries, Inc.

先行投資の着実な回収

既決定の主要な設備投資・投融資は概ね2019年度に完了。投資回収・利益拡大期へ

既に決定済

2012 2013 2014 2015 2016 2017 2018 2019 2020 2021 2022 (年度)

主な戦略投資／投融資

UATH
(タイ)

第1・2期 595億円

冷間・表面処理/塗装、鋳造・熱間、フィン塗装

一貫生産開始

第3期 390億円

鋳造・冷間・表面処理/塗装

営業黒字化

利益拡大期

投資回収本格化

TAA
(米)

260億円

鋳造・熱間

190億円

鋳造・冷間

稼働開始

投資回収本格化

CUA
(米)

85億円

第1期CALP

UWH
(米)

145億円

買収

20億円

押出機

稼働開始

投資回収本格化

福井

160億円

CALP

稼働開始

投資回収本格化

新規

新規の戦略投資・投融資は
厳選して実行

4. 財務状況、株主還元

2019年度もUATH、TAAの戦略投資を中心に投資を継続

(単位：億円)

		2018年度	2019年度 見通し
設備投資	一般投資	161	199
	戦略投資	365	403
	合計	525	602
減価償却費		307	340
戦略投融资		-	7

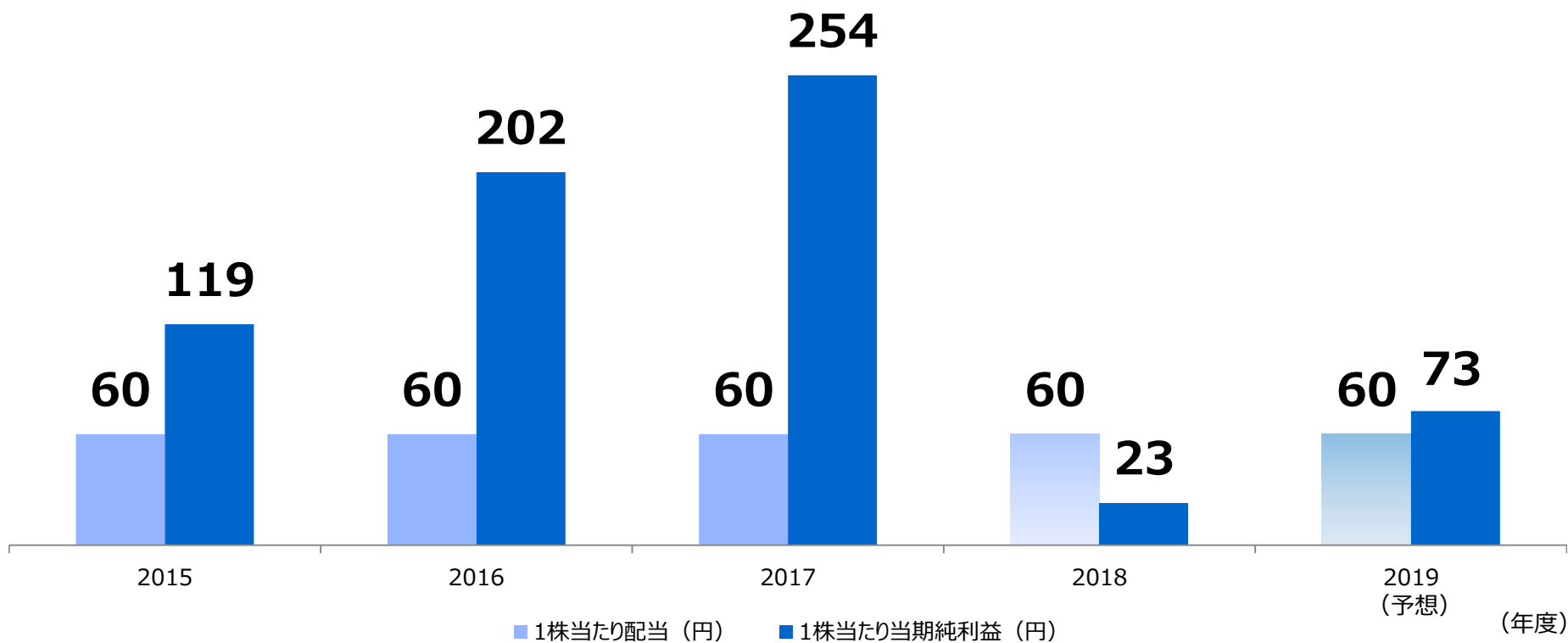
純利益減少に伴いROEが悪化

	2018/3末	2019/3末
自己資本（億円）	1,942	1,910
自己資本比率（%）	25.1	23.7
有利子負債（億円）	3,423	3,751
D/Eレシオ*（倍）	1.50	1.68
R O E（%）	6.5	0.6

* 劣後ローンの資本性考慮後

基本方針である安定的・継続的配当に基づき、配当予想は前年同額の60円とする

1株当たり配当/1株当たり当期純利益* (円)



*株式併合後換算で表記

ご参考データ

年間を通じて先行き不透明かつ厳しい事業環境の継続を想定

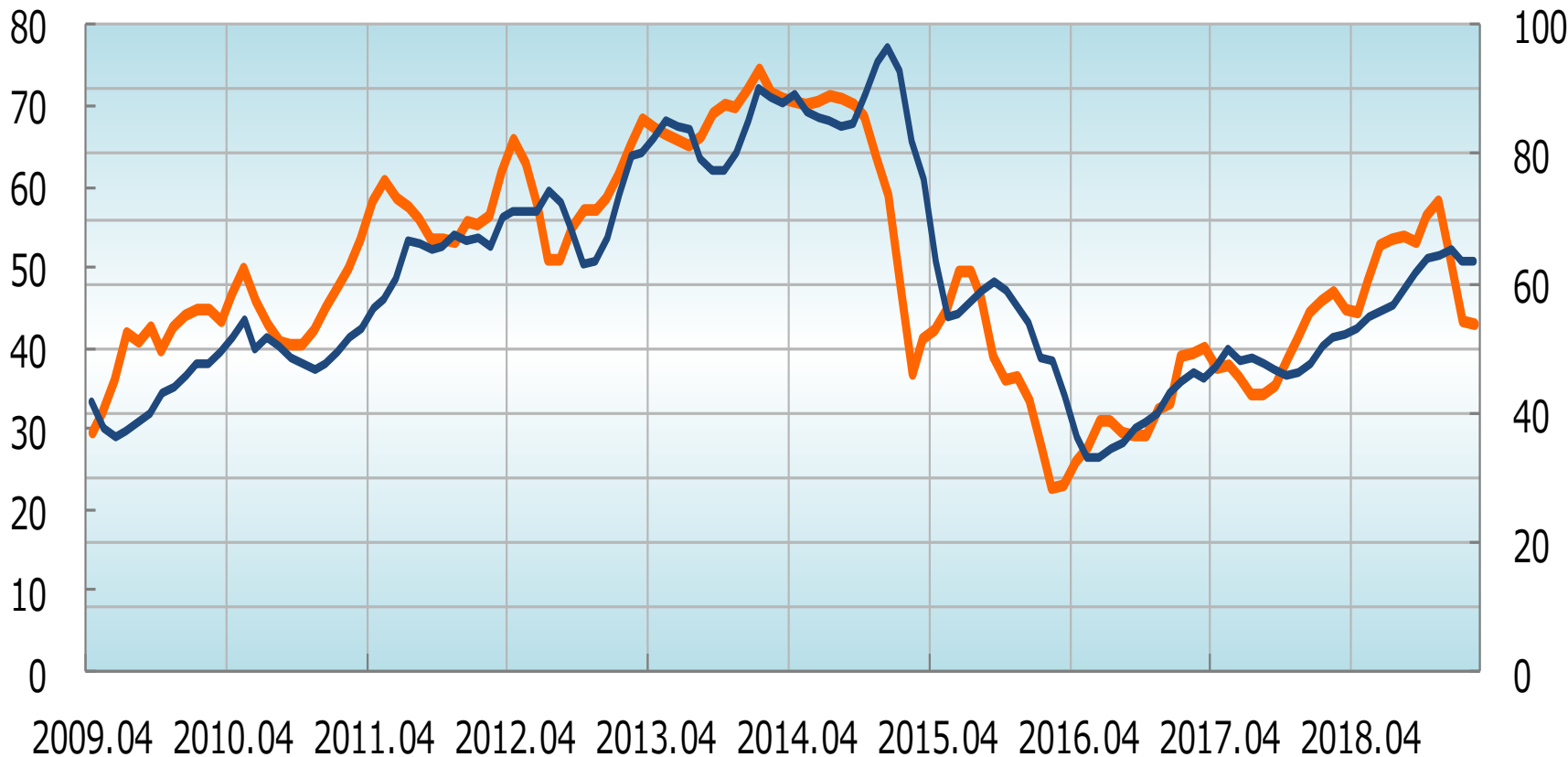
主要品種	FY2018 期初予想	最新 トレンド	見通し
缶材	→	→	ビール縮小を、低アルコール飲料増加が補う（変更なし）
自動車材	→	→	自動車生産は減るが、環境対応・軽量化でアルミニウム採用車種・部位が大幅に増加（変更なし）
厚板 液晶・半導体製造装置	↗	↘	中長期的に半導体分野への投資は堅調も、足元は経営環境の急変に伴い需要は減少
IT	↗	↘	足元は経営環境の急変に伴い需要は減少

(当社推定)

	2018年度 (実績)	2019年度 (見通し)	経常利益への 感応度
アルミ地金 日経平均 (円/kg)	284	269	10円/kg上昇した場合 → +20~+30億円/年
LME (米\$)	2,035	1,900	\$100/t上昇した場合 → +22~+35億円/年
為替 (円/米\$)	111	111	ほぼ影響なし
為替 (円/タイバーツ)	3.4	3.5	<ul style="list-style-type: none"> ・燃料単価、添加金属：円高が有利 ・ロールマージン、為替換算差：円安が有利
原油 (ドバイ：米\$)	72	68	10ドル上昇した場合 → △10~△15億円/年

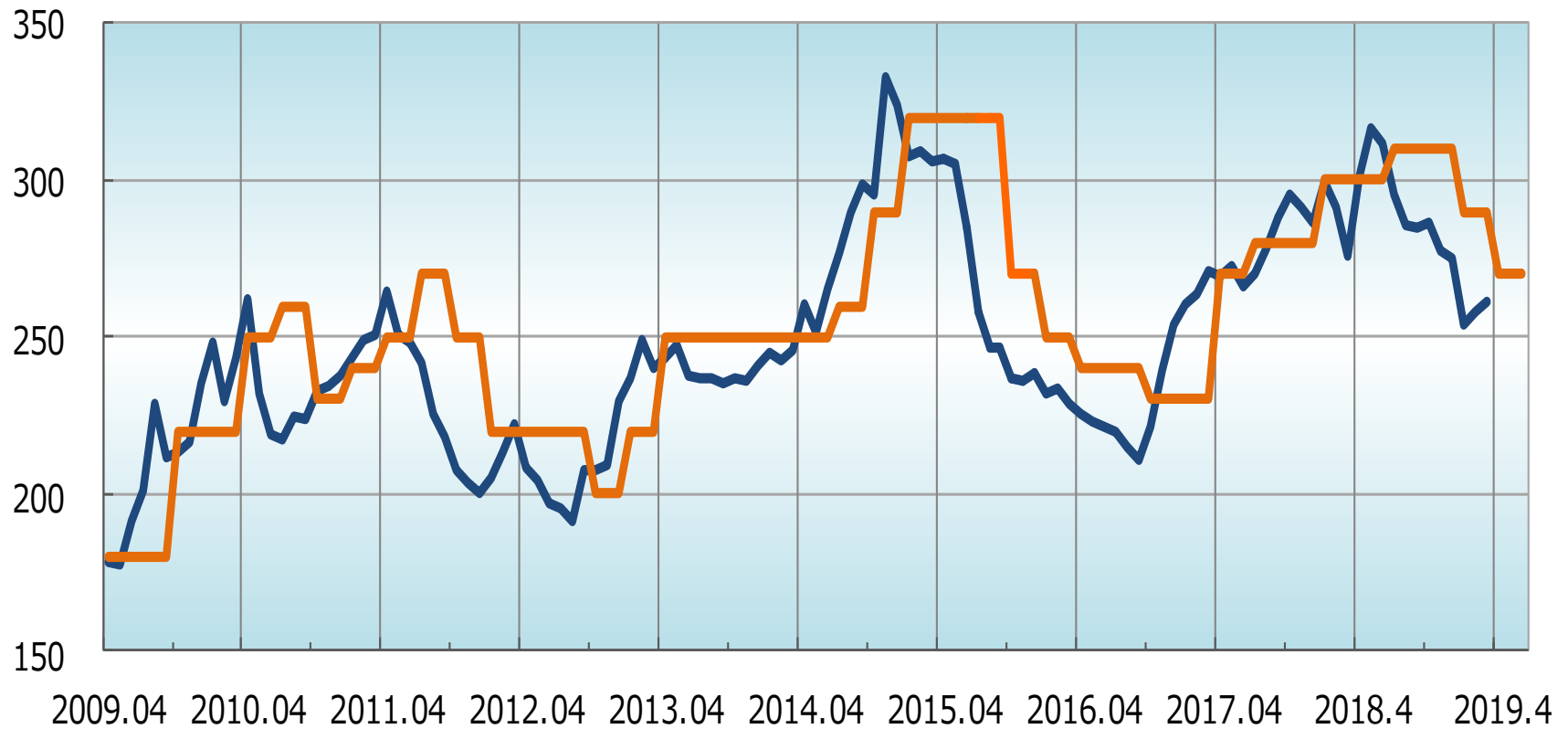
原油 CIF
(円/L)

LNG CIF
(円/Kg)



— LNG CIF (円/Kg) — 原油CIF (円/L)

(円/Kg)



— アルミ日経市況

— アルミ基準地金

主要指標推移

(億円)	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度 (見通し)	
売上高	5,725	5,757	5,683	6,243	6,613	7,100	
連結営業利益	237	152	259	292	149	175	
棚卸影響前連結経常利益	142	203	240	113	30	115	
<棚卸評価関係>	71	△83	△42	81	32	△5	
連結経常利益	213	120	198	194	62	110	
連結当期純利益	86	51	87	123	11	35	
Adjusted EBITDA	417	523	568	507	296	520	
設備投資	一般投資	120	124	112	147	161	199
	戦略投資	345	181	204	365	365	403
	合計	465	305	316	512	525	602
減価償却費	218	222	228	251	307	340	
戦略投融資	38	55	231	33	-	7	
自己資本	1,723	1,650	1,841	1,942	1,910	1,928	
自己資本比率 (%)	25.4	24.9	25.4	25.1	23.7	23.2%	
有利子負債	2,959	2,890	3,238	3,423	3,751	4,000	
D/Eレシオ (倍) *	1.72	1.75	1.49*	1.50*	1.68*	1.79*	
ROE (%)	5.3	3.0	5.0	6.5	0.6	2.4	

* 劣後ローンの資本性考慮後

将来情報についての注意事項

この資料に記載されております売上高及び利益等の計画のうち、過去または現在の事実に関するもの以外は、当社グループの各事業に関する業界の動向についての見通しを含む経済状況ならびに為替レートの変動その他の業績に影響を与える要因について、現時点で入手可能な情報をもとにした当社グループの仮定及び判断に基づく見通しを前提としております。

これら将来予想に関する記述は、既知または未知のリスク及び不確実性が内在しており、実際の売上高及び利益等と、この資料に記載されております計画とは、今後さまざまな要因によりこれらの業績見通しとは大きく異なる場合があり、確約や保証を与えるものではないことをご承知おきください。また、本資料は投資勧誘の目的のための資料ではありません。

著作権等について

この資料のいかなる部分についてもその著作権その他一切の権利は、株式会社UACJに帰属しており、あらゆる方法を問わず、無断で複製または転用することを禁止します。

本資料ならびに I R 関係の問い合わせにつきましては、下記までお願いいたします。

コーポレートコミュニケーション部 TEL : 03-6202-2654 FAX : 03-6202-2021

URL : <http://www.uacj.co.jp>

(東証1部 コード番号 : 5741)